

轟町循環線

で行くバスの旅

午前回り停留所①松波県住②市営住宅③二丁目7番④一丁目5番⑤穴川公園⑥教育センター⑦五丁目1番⑧千葉経済大学

①松波県住



千葉大学出身の著名人

作家 角田喜久雄・辻村深月
海堂尊・やなせたかし
本多勝一
タレント 大久保佳代子
写真家 荒木経惟(アーラーキー)



ご乗車ありがとうございます。

お乗りの轟町循環線は、JR 西千葉駅を起点に一周約 15 分で轟町をめぐり、JR 西千葉駅に戻ります。

午前回りと午後回りでは、ルート及び停留所が異なりますので、ご注意下さい。

轟町のほぼ全域は、明治 41(1908)年鉄道第一聯隊の材料廠として建設され、大正 12(1923)年には千葉陸軍兵器補給廠となりました。昭和 11(1936)年に軍靴の音が轟く街ということで町名が轟町と命名されたと伝わっています。

戦後は、千葉氏関連の五輪塔などの文化財が点在する文教地区、学生の街として生まれ変わりました。

轟町に縁の深い著名人は、第 24 代横綱鳳谷五郎関や宮沢賢治研究家で詩人の天沢退二郎さんがいらっしゃいます。

短いバスの旅ではございますが、路線周辺には中世の石造物や戦争遺跡など見応えのある史跡があります。

どうぞ轟町循環線にお乗りの際は、この街が体験した激動の歴史やこの街に生きた人々に思いをはせ、バスの旅をお楽しみ下さい。

午前回り停留所⑨轟町県住⑧千葉経済大学⑦五丁目1番⑥教育センター⑤穴川公園④一丁目5番③二丁目7番②市営住宅

①松波県住